

QIP (Quality Indicator/Improvement Project) によるクリニカル・インジケータ（臨床指標）：2020年度

| | 指標群 | 指標名 |
|----|-----------|--|
| 1 | 脳卒中 | 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院2日目までに抗血小板療法もしくは抗凝固療法（ワルファリン、ヘパリンを除く）を受けた症例の割合 |
| 2 | 脳卒中 | 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗血小板薬を処方された症例 |
| 3 | 脳卒中 | 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例 |
| 4 | 脳卒中 | 心房細動を合併する脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、退院時に抗凝固薬を処方された症例（90歳未満） |
| 5 | 脳卒中 | 脳梗塞（TIA含む）の診断で入院し、入院中に未分画ヘパリンを投与されなかった症例の割合 |
| 6 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の割合 |
| 7 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、入院後早期にリハビリ治療を受けた症例の割合 |
| 8 | 脳卒中 | 脳梗塞患者の退院時スタチン処方割合 |
| 9 | 脳卒中 | 脳外科および脳卒中症例の深部静脈血栓症の発症率 |
| 10 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ実施平均日数 |
| 11 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例のリハビリ平均1日実施単位数 |
| 12 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、リハビリ治療を受けた症例の平均在院日数 |
| 13 | 脳卒中 | 脳卒中患者に対する地域連携診療計画加算の算定割合 |
| 14 | 脳卒中 | 脳梗塞症例の肺塞栓・深部静脈血栓症の発症率 |
| 15 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、血栓溶解療法あるいは血栓除去治療を受けた症例の割合 |
| 16 | 脳卒中 | 脳梗塞の診断で入院し、抗痙攣薬を投与しない割合 |
| 17 | 呼吸器系 | 喘息入院患者における退院後30日間以内の同一施設再入院割合 |
| 18 | 呼吸器系 | 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合（5歳から14歳） |
| 19 | 呼吸器系 | 喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合（15歳以上） |
| 20 | 呼吸器系 | 小児喘息に対して入院中に発作治療薬（全身ステロイド以外）を処方された症例の割合 |
| 21 | 呼吸器系 | 小児喘息に対して入院中にステロイドの全身投与（静注・経口）を受けた症例の割合 |
| 22 | 呼吸器系 | 院内肺炎症例の平均抗菌薬投与日数 |
| 23 | 呼吸器系 | 院内肺炎症例の治癒軽快割合 |
| 24 | 呼吸器系 | 手術実施患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 |
| 25 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合 |
| 26 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者における退院時抗血小板薬投与割合 |
| 27 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者における当日アスピリン投与割合 |
| 28 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者におけるβブロッカー投与割合 |
| 29 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者におけるACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 |
| 30 | 循環器系疾患 薬剤 | 心不全患者へのβブロッカー投与の割合 |
| 31 | 循環器系疾患 薬剤 | 心不全患者へのACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤投与の割合 |
| 32 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合 |
| 33 | 循環器系疾患 薬剤 | 急性心筋梗塞患者における退院時のACE阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 |
| 34 | 循環器系疾患 薬剤 | アスピリン内服患者の退院時酸分泌抑制薬（PPI/H2RA）処方率 |
| 35 | 循環器系疾患 | 左心カテーテル手技に際し、右心カテーテル手技を同時には行っていない割合 |
| 36 | 循環器系疾患 | 経皮的冠動脈形成術（PTCA）を受けた後、同日あるいは翌日までに冠動脈バイパス術（CABG）を受けた割合 |
| 37 | 循環器系疾患 | 急性心筋梗塞（再発性心筋梗塞含む）患者に対する心臓リハビリ実施割合 |
| 38 | 循環器系疾患 | 急性または慢性心不全患者に対する心臓リハビリ実施割合 |
| 39 | 循環器系疾患 | 急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内のPCI 実施割合 |
| 40 | 消化器系 | 急性膵炎入院患者における入院最初の3日間の経腸栄養実施状況 |
| 41 | 消化器系 | 急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合 |
| 42 | 消化器系 | 急性膵炎に対する入院2日以内のCT実施割合 |
| 43 | 消化器系 | 胆嚢炎・急性胆嚢炎に対する入院2日以内の超音波検査実施割合 |
| 44 | 消化器系 | 急性膵炎に対する入院2日以内の造影CT実施割合 |
| 45 | 消化器系 | 小児虫垂炎入院症例で超音波検査の施行割合 |
| 46 | 整形外科 | 大腿骨頸部骨折における早期リハビリ開始率 |
| 47 | 整形外科 | 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携診療計画管理料の算定割合（2015年度までが対象） |
| 48 | 整形外科 | 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携診療計画加算の算定割合(2016) |
| 49 | 整形外科 | 大腿骨頸部骨折の早期手術割合 |
| 50 | 整形外科 | 大腿骨転子部骨折の早期手術割合 |
| 51 | 乳がん | T1-2,N0M0乳がん手術患者に対するセンチネルリンパ節生検率 |
| 52 | 乳がん | T1-2,N0M0乳がん手術患者に対する腋下リンパ節郭清実施率 |
| 53 | 糖尿病 | 糖尿病入院患者に対する栄養指導実施率 |

QIP (Quality Indicator/Improvement Project) によるクリニカル・インジケター（臨床指標）：2020年度

| | 指標群 | 指標名 |
|-----|--------|--|
| 54 | 周産期系 | 帝王切開術における全身麻酔以外の割合 |
| 55 | 周産期系 | 帝王切開術のための入院期間中に輸血を受けた症例の割合 |
| 56 | 周産期系 | ハイリスク妊娠・分娩症例の割合 |
| 57 | 化学療法 | シスプラチンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与 |
| 58 | 化学療法 | ストレプトソシンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与 |
| 59 | 化学療法 | タカルバジンを含むがん薬物療法後の急性期予防的制吐剤の投与 |
| 60 | 化学療法 | AC（ドキシルピシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与 |
| 61 | 化学療法 | EC（エビルピシン、シクロホスファミド）療法後の急性期予防的制吐剤の投与 |
| 62 | 精神科 | 精神科入院症例のうち、向精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合 |
| 63 | 精神科 | 精神科入院症例のうち、抗精神病薬の退院処方が単剤または2剤である割合 |
| 64 | 精神科 | 精神科入院症例のうち、抗不安薬の退院処方が単剤または2剤である割合 |
| 65 | 精神科 | 精神科入院症例のうち、睡眠薬の退院処方が単剤または2剤である割合 |
| 66 | 精神科 | 精神科入院症例のうち、抗うつ薬の退院処方が単剤または2剤である割合 |
| 67 | 精神科 | 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く） |
| 68 | 精神科 | 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く、GAF30以下） |
| 69 | 精神科 | 精神疾患で入院した症例における身体拘束割合（高齢者を除く、GAF31以上） |
| 70 | 精神科 | 75歳以上の入院症例でトリアゾラムが処方された割合 |
| 71 | 精神科 | 75歳以上の入院症例で長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合 |
| 72 | 精神科 | 75歳以上の入院症例でトリアゾラムまたは長時間型ベンゾジアゼピン受容体作動薬が処方された割合 |
| 73 | 緩和ケア | がんの疼痛管理のため、長時間作用型麻薬に加えて短時間作用型麻薬等のレスキューを頓用として処方された症例の割合 |
| 74 | 感染症 | 抗MRSA薬投与に対して、薬物血中濃度を測定された症例の割合 |
| 75 | 感染症 | 市中肺炎症例に対し、尿中肺炎球菌抗原検査を受けた症例 |
| 76 | 感染症 | 市中肺炎症例に対し、入院当日から抗菌薬を投与された症例 |
| 77 | 感染症 | 市中肺炎症例に対する、注射抗菌薬開始時の抗緑膿菌薬投与割合 |
| 78 | 感染症 | 血液培養検査において、同日に2セット以上の実施割合 |
| 79 | 感染症 | 抗MRSA薬投与症例に対して、細菌検査を実施された割合 |
| 80 | 感染症 | 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率 |
| 81 | 感染症 | 広域抗菌薬使用までの培養検査実施率 |
| 82 | 感染症 | 経口第3世代セフェム処方率が経口抗菌薬全体に占める割合 |
| 83 | 感染症 | 経口カルバペネム処方率が経口抗菌薬全体に占める割合 |
| 84 | 感染症 | 外来における小児抗菌薬適正使用支援加算の全体数と実施割合 |
| 85 | マネジメント | 小児入院患者件数に対する、時間外または深夜入院の入院数および割合 |
| 86 | マネジメント | 薬剤管理指導実施割合（実施患者数ベース） |
| 87 | マネジメント | 悪性腫瘍症例に対する退院支援の割合 |
| 88 | マネジメント | 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への栄養管理実施割合 |
| 89 | マネジメント | 糖尿病・慢性腎臓病を併存症に持つ患者への早期栄養管理実施割合 |
| 90 | マネジメント | 退院後6週間以内の再入院割合（退院症例集計） |
| 91 | マネジメント | 退院後6週間以内の救急医療入院率（退院症例集計） |
| 92 | マネジメント | 緊急入院の割合 |
| 93 | マネジメント | 他院よりの紹介の有る入院の割合 |
| 94 | マネジメント | DPC入院期間II以内の割合 |
| 95 | マネジメント | DPC入院期間III超えの割合 |
| 96 | マネジメント | 悪性腫瘍（4種）手術症例における大量輸血の割合 2（食道がん・胃がん・大腸がん・直腸がん） |
| 97 | マネジメント | 誤嚥性肺炎症例に対する退院支援の割合 |
| 98 | マネジメント | 認知症を伴う症例に対する退院支援の割合 |
| 99 | マネジメント | 薬剤管理指導実施開始日 |
| 100 | マネジメント | 悪性腫瘍・誤嚥性肺炎・認知症の症例に対する退院支援の割合 |
| 101 | マネジメント | 外来インスリン治療症例への糖尿病透析予防指導実施割合 |
| 102 | マネジメント | 服薬指導 b. 安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率 |
| 103 | マネジメント | 再入院（30日） a. 30日以内の予定外再入院率 |
| 104 | マネジメント | 薬剤管理指導入院3日以内実施割合（実施患者数ベース） |
| 105 | マネジメント | 7日以内再入院のうち計画外入院割合（同一病院内） |
| 106 | マネジメント | 全入院患者に対する薬剤総合評価調整加算の算定割合 |

QIP (Quality Indicator/Improvement Project) によるクリニカル・インジケータ（臨床指標）：2020年度

| | 指標群 | 指標名 |
|-----|------------|---|
| 107 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術） |
| 108 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：乳房切除術 |
| 109 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：腹式子宮摘出術（開腹） |
| 110 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：冠動脈バイパス手術 |
| 111 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術） |
| 112 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど） |
| 113 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：肺切除術（開腹） |
| 114 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：顎変形症手術 |
| 115 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用） |
| 116 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用） |
| 117 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：人工関節置換術 |
| 118 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与日数の平均値：経尿道的前立腺切除術（TURP） |
| 119 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術） |
| 120 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：乳房切除術 |
| 121 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹） |
| 122 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：冠動脈バイパス手術 |
| 123 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術） |
| 124 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど） |
| 125 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：肺切除術（開腹） |
| 126 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：顎変形症手術 |
| 127 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用） |
| 128 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用） |
| 129 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：人工関節置換術 |
| 130 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期抗菌薬の予防的な投与期間遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP） |
| 131 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術） |
| 132 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：乳房切除術 |
| 133 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：腹式子宮摘出術（開腹） |
| 134 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：冠動脈バイパス手術 |
| 135 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術） |
| 136 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど） |
| 137 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：肺切除術（開腹） |
| 138 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：顎変形症手術 |
| 139 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用） |
| 140 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用） |
| 141 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：人工関節置換術 |
| 142 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP） |
| 143 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：胃全摘術（開腹/腹腔鏡下手術） |
| 144 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：乳房切除術 |
| 145 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：腹式子宮摘出術（開腹） |
| 146 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：冠動脈バイパス手術 |
| 147 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：弁膜症手術（弁置換術、弁形成術） |
| 148 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど） |
| 149 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：肺切除術（開腹） |
| 150 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：顎変形症手術 |
| 151 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ使用） |
| 152 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：鼠径部ヘルニア根治術（開腹、メッシュ非使用） |
| 153 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：人工関節置換術 |
| 154 | 周術期抗菌薬予防投与 | 周術期予防的抗菌薬の薬剤種類および投与期間遵守率：経尿道的前立腺切除術（TURP） |